

刊夕日八十月二

常磐每日新聞

定価 一冊五錢 一月五拾五錢 郵費五錢
 廣告料 五號十二字 一日五拾五錢
 日曜 祭日 休刊 日本 休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

國家的大試練 (二)

辯護士 門傳清吾

曾て、佛國のフオツシュ元師は日本の國民道德を以て世界最高の道德であるとの批判を下し日本國民は、忠節と犠牲との精神に秀で死以上に忠義を重んじ、死以上に名譽を重んずとの説を發表したことがあつた。死以上に忠義を重んじ、死以上に名譽を重んずと云ふ説は、頗る玩味の値ひがあつて歐米の功利主義や個人主義の見地より考察せば、其の本意を會得すること極めて困難であらう。我が日本に於ける名譽は、歐米に於ける所謂名譽の意義とは其の根本義が異つて居る。我が日本に於ける名譽は、天地の大道の表象であつて天地の大道を全うし、國民とし人類としての最高道德を全うする光である。名譽の實と云ふは此の理を指すものであつて、天地の大道を實質とし、此の實質を實行する處に名譽の光備ある。即ち我が日本に於ては名譽は天地の大道の表現であつて、天地の大道は、即ち忠を本體とす。忠は至誠の結晶である。眞實の發露である。至誠眞實の至心、結晶し發動し來つて、茲に忠となり孝となり仁となり義となり、愛國殉難の奮闘となる。死以上に忠義を尊重し、死以上に名譽を尊重することは、即ち、死以上に道義を尊重する事であつて、茲に、我が日本の國を肇むること宏遠に、徳を樹つること深厚なる道德立國の原理が存し、王道國家たり仁義の國君子の國たるの本義存する。

今日は、日本が、世界に向つて、正義公道を布くべき好機運であつて、此の際滿蒙に於ける權益の確保は勿論の事、更に、高大なる理想に立つて、東洋平和の大本を確立すると共に、進んで、日本の王道原理を全世界に宣布し顯揚せなければならぬ。此の間の國家的理想に立つて、大國民としての使命に邁進すると共に内に於いて、益々、國體の精華を明らかにし、國民性の美風を向上し、日本独自の精神文化の發達を圖るに努力すべきであつて、此の點に於ては、教育者宗教家思想家を初じめとし、總べて、文化事業に従事する有識の士は、奮つて、日本の美風の宣揚のために、幾層の努力を注がなければならぬ。支那國旗の下には、内亂と無政府とがあり、日本國旗の下には、平和と秩序とがあると、ロンドン・タイムスが斷案を下したるが如く、更に、佛國の言論界に於ては、日本軍は滿蒙の治安を保ち平和を維持する憲兵であるとの説が一般に行はれ、國際聯盟が、土匪馬賊の支那に味方して、憲兵の日本を排斥するは何事であるとの主張が、一時、盛行はれた如く、今回の事變を通じ、支那の暴と醜とが益々明瞭となり、日本の正義公道が、赫灼として

世界に光明を放つに至つた此の機に乗じて、支那の暴を懲らし、醜を匡し、支那を改善し指導して、日本の仁義に浴せしむると共に、日本の美風を宣揚し、本領を發揮し、内に外に、國民的使命を全うすることは、今日の貴重なる要務と云はなければならぬ。一事件を経、一試練を経る毎に、益々鍛練の功を積み、天與の大任に向つて邁進すること茲に、日本國民の本領存す此の點に於いて、今日は實に、日本國民が、眞に其の本領を發揮すべき絶好の機運である。

文藝募集

世界に光明を放つに至つた此の機に乗じて、支那の暴を懲らし、醜を匡し、支那を改善し指導して、日本の仁義に浴せしむると共に、日本の美風を宣揚し、本領を發揮し、内に外に、國民的使命を全うすることは、今日の貴重なる要務と云はなければならぬ。一事件を経、一試練を経る毎に、益々鍛練の功を積み、天與の大任に向つて邁進すること茲に、日本國民の本領存す此の點に於いて、今日は實に、日本國民が、眞に其の本領を發揮すべき絶好の機運である。

磐城セメント會社特約店
久金屋商店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久金の生命なり

正確な時計
王常盤屋時計店
 お客様本位の……
 好適の眼鏡



貸切の……
 御用命は？
 獅子吼(四四九)ノ勢デ
 マツサキ
 眞先ニ……(マツサキ)
 ミヨニ
 三九二タクシーへ!!!

吉田眼科病院
 平町正札堂洋服店 電話四三六
 最新柄物……………三ッ揃……………拾貳圓
 スコッチ……………三ッ揃……………拾三圓五十錢
 最上紺黒……………三ッ揃……………拾六圓五十錢
 サージ……………三ッ揃……………拾九圓
 高級品……………三ッ揃……………拾九圓
 ウィンステット……………三ッ揃……………拾九圓

冬服何揃ひ
 最新柄物……………三ッ揃……………拾貳圓
 スコッチ……………三ッ揃……………拾三圓五十錢
 最上紺黒……………三ッ揃……………拾六圓五十錢
 サージ……………三ッ揃……………拾九圓
 高級品……………三ッ揃……………拾九圓
 ウィンステット……………三ッ揃……………拾九圓

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番



外科
 門專 X
 科線光
 上田外科醫院
 平町南町
 電話二一九番

鈴木氏を落すなと

全軍決死的の猛闘

最後まで樂觀を許さぬ

今一ト息で當選圏内

第三區石、双、相三郡は鈴木、佐藤、比佐、氏家の四候補が入り亂れ縣下第一ともいふべき混戦激戦地と化して政民兩派は前回の得票割合では全く豫測に難く五分々の地盤に

展開するものと傳へられ石城の四萬一千一百十五票は佐藤(政)氏(民)の双相からの突出によつて目下のところ前回の佐藤四千三十五票、氏家一千五百十五票より倍にはならずとも相當切りの

收獲あるものと見られ地元候補の鈴木、比佐の兩氏にとつては尠からぬ苦戦である双葉は一萬二千八百一票、相馬は一萬九千八百六票であるが大体において

其の總退却の最中でした、長春を出た飛行機三臺は來ました、今朝早くからどんなに此の飛行機を待つて居つたか知れませんでした、今一時間も早ければ、五日の戦斗にはあれ程の死傷者も出さなかつた事でせう、而かし良く飛行機の爆弾は命中します、敵は蜘蛛の子を散らす如く逃げ廻る後より我が野砲山砲の砲霰は敵の頭上に良く行つて白煙を

ハルピンへ 行進激闘

ハルピン警備地にて
平田身佐藤武君通信
(下)

而かし敵は矢張り支那人でした、我が軍の豆のえる如く射つ中を躍進、躍進で前進して來たものを一寸の間に總退却をなしてしまひました、我が野砲山砲の發砲に恐れをなした事でせう、

て氏家、佐藤兩氏の收獲である如く大体より見て氏家は

最高點 當選今や確實にして比佐氏は流石に根強き勢力を有し佐藤、鈴木の兩氏苦戦と見られてゐるが

就中腹背に敵を受けた鈴木辰三郎氏は地盤とする石城を佐藤氏に蠶食され相双二郡に於ける

得票も 意の如くならず最も劣勢を傳へられるに至つたが鈴木氏は石城政友部會の公認であり縣支部幹事長にして若し同氏を落選せしむるごとき事ありては

實に石城政友部會の面目に關する一大事なりとし心ある黨員等は「鈴木を落すな」の激を飛ばし必死の奮闘を

石城郡各濱の漁業家にとり至大の關係ある本縣の現行漁業取締規則は大正九年の制定でその後屢一部改正したが漁業の進歩に伴ひ種類の境加及び業態の變遷と河川等水面の状況變化により現時の漁業に適切でない點多々あり生産上並に魚族蕃殖保護上不便尠くないので

上げる時の氣持は實に何んとも云われ無程です、機關銃隊の活躍も又見事でした、十一時三十分頃にはさのもの(馬占山以上の反吉林軍)もハルピン舊市街方面に逃走なしてしまひました、敵死體不明なれども定めし數百名は有つた事でせう、十二時近くに再びハルピン新市街方面に向つて前進、午後四時三十分無事北滿唯一の都市ハルピンに入

續け更らに鈴木氏の政治的手腕に對する選挙民の理解と同情から今一段の活動に依り當選圏内に入るものと見られてゐるが最後まで絶對樂觀は許されぬ模様である

改正した漁業法

關係町村長に通牒

縣では近く時代順應の規則に改正すべくその参考資料として十六日左記事項を各市町村長、漁業組合につき調査すべく通牒するところあつた

一、許可漁業種類の改廢を必要とする事項
二、既設漁業權の保護並

に漁業免許に關する事項
三、水産動植物の蕃殖保護のため採捕に關し制限又は禁止を要する事項
イ、採捕の禁止を必要とする水産動植物の卵
ロ、水産動植物につき採捕の禁止を必要とする時期
ハ、禁止を必要とする漁具源法
ニ、禁漁區域の設定又は解除を必要とする場所

優良納稅組合
知事より表彰

村井本縣知事より本月十一日付を以つて納稅組合としてその施設經營の宜しき縣下各地の同組合が表彰されたがうち平町の表彰された組合は左記十五組合である

- △三丁目第三納稅組合
- △久保町納稅組合
- △平小學校教員納稅組合
- △新川町中納稅組合
- △稅務署職員納稅組合
- △警城中學校納稅組合
- △北目町納稅組合
- △古銀治町納稅組合
- △町役場吏員納稅組合
- △新川町五組納稅組合
- △南町第一納稅組合
- △仲田町納稅組合
- △鎌田東部納稅組合
- △鎌田東部納稅組合
- △鎌田第三納稅組合

平町人事
回出 主

△四丁目三八 藤田清造氏
△二丁目

△立町一六 當時大阪市淀川區本庄東通三丁目三三 瀬谷光利氏長女朝枝
△田町六六館内イチ(四〇) △鎌田町十四 當時双葉郡廣野村字櫻田 渡邊貞雄 (二ツ)

鈴木辰三郎氏

ヲ推薦ス

理想的新人

謹啓 目下時局多事多難ノ

秋、人物本位ヲ第一義トセバ

新進氣鋭ニシテ手腕力量ノ

士、即チ眞ニ「出シテ出シ甲

斐アル」全氏コソ國家ノ選良

ト存候、就テハ是非貴下ノ尊

キ一票ヲ全氏ノ爲メ御投票

被下度懇囑奉リ候 草々敬具

昭和七年二月十八日

福島縣石城郡平町搔樋小路三〇

阿部政右衛門

第三區有權者各位

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

町民の約半数が 質屋のお得意

受戻しも極めて少なく
平町役場の調査

不況と就職難の昨今その日の生活に追われる者の多い結果最も民衆的な金融機関としての質屋の営業は不況と反対に益々営業好転をしつゝある有様で町役場で調査した平町の質屋の本年一月現在の一ヶ月の成績は貸出数一萬九千六百二十一口金額が八萬五千九百六圓其のうち質の受戻が一萬九千二百八口金額八萬二千三百

堤防改修工事の 請負金を寄附 在満兵へ贈る

玉川青年美舉

石城郡玉川村青年團員百三十餘名はこの程同村地内矢田川の堤防改修工事を請負ひ百六十餘圓を得たのでこれを全部慰問金として近く同村出身在満兵へ贈ることになったが附近村民は改修工事により水害から免れ非常に喜ぶとともにその俠氣に感激してゐる

遠洋漁業奨励

申込は三月末日

縣水産課では豫てより濱通り各漁業家に遠洋漁業を奨

十俵、等外七俵、合計九十五俵であるが流石に百姓達の持米少なく前回の約半数である

人を待つ 水戸の梅

水戸常磐公園の梅は南崖の老樹既に咲きはこり北枝綻

強豪の出揃ふ 關東北卓球大會

各軍必死の練習

既報来る廿八日平第三小學校に開催される第二回關東北ピンポン大會は目下申込み募集中であるが既に申込み済みのものは茨城縣日立磯山仙臺の五チームと今年最初の出場をなす福島高商チーム過般の縣下ピンポン大會の優勝チームたる福島電燈チームの再来等を初め地元チームの雄たる税務所常磐銀行、第一小學校等あり各選手は大熱戦を豫想して連日猛練習中であるから當日は物凄い迄の大接戦が行はれるであらうと

進榮丸が大破 豊間のトロール船

豊間のトロール船

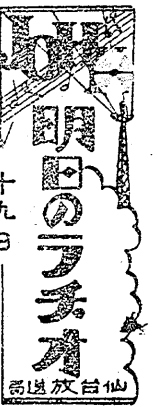
石城郡豊間村大字鹽谷二番地トロール船進榮丸(七十トシ)に船長外十七名乗組み十六日午前三時ごろ宮城縣牡鹿郡鮎川村海岸航行中暗礁にのりあげ船體を大破したが乗組員は救助された損害約一萬五千圓の見込み

中堅農民講習 講師全部決定

講師全部決定

既報石城郡農會主催の中堅農民講習會は本月九日より開催中であるが目下選舉のため廿二日後の講師は科目は未定中であつたが左記の如く決定した

△廿三日より廿八日迄
作物農具 縣農會小松主



明日のラジオ

朝 豫 氣 天
今 晚 も 明 日
西 の 風 強 く 晴 れ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
ピアノと歌 宮城縣第一
高等女學校生徒 ピアノ
伴奏柴田千代
後七、三〇 選舉講座「投票の心得」内務省行政課
長 狹間茂
後八、〇〇 新内「不斷櫻
下總土産」鶴賀若狹椽
後八、三〇 新樂曲 宮城
道雄外
後八、五〇 管絃樂 東京

明日の部

後九、一〇 料理献立「豚肉揚げ」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座

市原醫院

△旋盤工 廿才 高卒 給
△料面談(赤井村某)
△雜夫 四二歳 高卒 給
料面談(兵庫縣某)

專 門
婦 產 科
花 柳 病 科
婦 人 科
婦 科
婦 科
婦 科

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

齒科

平町鍛冶町吉田屋吳服店西隣り
口腔外科 齒槽膿漏科
治療科 補綴科 齒列矯正科

中村齒科醫院

東京齒科醫學士 中村文一

小説
七三三
【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

未亡人の秘密 (5)
「アハ、ハ、」
おつきあひに笑つて
「奥さんの話によりますと
あなたは若尾さんの令嬢で
ゐらつしやるやうに伺ひま
したが、御苗字の違つてゐ
るのは如何いふ譯ですか」
嘘だと知りつゝ、高野は押
捻ひ價分に先づ突込んで見
た。と、女は平氣で
「え。皆さまは然う言つて
ゐらつしやるやうですけれ
ど、それは少し事實を取違
えた見方です。私の身の
上にはそれは／＼お話がで
きないくらゐの入組んだい
ろんな事實がつか纏つてゐ
ますのよ」
花子は自分が若尾家の嫡
子ではなく、妾腹であつた
ことや、運悪く庶子と生れ
たために貰へる財産も貰へ
なかつたことや、家庭の折
合上余儀なく別居して洋樂
と舞臺の教授をしてゐるこ
となどを語つた。眞言そら
ごとと打ち交せてちよい／＼
難かしい外國語を混えて口
達者にやつてぬけるけれど
も、何だか辻褃の合はない
ところが大分あるやうに高
野に聞かれたそれを彼は好
い加減にあしらつて
「時に手前の奥さんは度々
こちらへ上つて御厄介にな
つて居ますが近頃はダンス
でも御教授を戴いてゐます
かな。
「近頃はあれが大流行です
が」
そろ／＼カマをかけ始め
た。と、花子は相變らず取
「何ですつて」
花子は怪訝なさうな目を
金縁眼鏡のかけに光らせて
「そりや貴君、私と深い交
際ですもの、格別な用事が
なくたつて訪ねたりするこ
とは幾らもありませんわ」
「成程、然うですか。奥さ
「それは申されません」
「ちや、貴君は奥さんの素
行調査に入らしつたんです
ね」



い音楽家でゐらしつて、で
もよくお出来になるんです
もの、却つてこちらが教へ
て戴きたいくらいです。
「へえ。然うすると、ど
んな御用で頻繁にお宅へ上
るんでせう」
思ひ切つて皮肉にやつて
のけた。
「何ですつて」
「御用は御用でも筋が違ひ
ます。或人の依頼で必要上
取調べるのです」
威赫的肩を怒らした。
花子もまげぬ態度で
「必要とはどんな必要な
です」
「それは申されません」
「ちや、貴君は奥さんの素
行調査に入らしつたんです
ね」

「奥さんの話によりますと
あなたは若尾さんの令嬢で
ゐらつしやるやうに伺ひま
したが、御苗字の違つてゐ
るのは如何いふ譯ですか」
嘘だと知りつゝ、高野は押
捻ひ價分に先づ突込んで見
た。と、女は平氣で
「え。皆さまは然う言つて
ゐらつしやるやうですけれ
ど、それは少し事實を取違
えた見方です。私の身の
上にはそれは／＼お話がで
きないくらゐの入組んだい
ろんな事實がつか纏つてゐ
ますのよ」
花子は自分が若尾家の嫡
子ではなく、妾腹であつた
ことや、運悪く庶子と生れ
たために貰へる財産も貰へ
なかつたことや、家庭の折
合上余儀なく別居して洋樂
と舞臺の教授をしてゐるこ
となどを語つた。眞言そら
ごとと打ち交せてちよい／＼
難かしい外國語を混えて口
達者にやつてぬけるけれど
も、何だか辻褃の合はない
ところが大分あるやうに高
野に聞かれたそれを彼は好
い加減にあしらつて
「時に手前の奥さんは度々
こちらへ上つて御厄介にな
つて居ますが近頃はダンス
でも御教授を戴いてゐます
かな。
「近頃はあれが大流行です
が」
そろ／＼カマをかけ始め
た。と、花子は相變らず取
「何ですつて」
花子は怪訝なさうな目を
金縁眼鏡のかけに光らせて
「そりや貴君、私と深い交
際ですもの、格別な用事が
なくたつて訪ねたりするこ
とは幾らもありませんわ」
「成程、然うですか。奥さ
「それは申されません」
「ちや、貴君は奥さんの素
行調査に入らしつたんです
ね」

「奥さんの話によりますと
あなたは若尾さんの令嬢で
ゐらつしやるやうに伺ひま
したが、御苗字の違つてゐ
るのは如何いふ譯ですか」
嘘だと知りつゝ、高野は押
捻ひ價分に先づ突込んで見
た。と、女は平氣で
「え。皆さまは然う言つて
ゐらつしやるやうですけれ
ど、それは少し事實を取違
えた見方です。私の身の
上にはそれは／＼お話がで
きないくらゐの入組んだい
ろんな事實がつか纏つてゐ
ますのよ」
花子は自分が若尾家の嫡
子ではなく、妾腹であつた
ことや、運悪く庶子と生れ
たために貰へる財産も貰へ
なかつたことや、家庭の折
合上余儀なく別居して洋樂
と舞臺の教授をしてゐるこ
となどを語つた。眞言そら
ごとと打ち交せてちよい／＼
難かしい外國語を混えて口
達者にやつてぬけるけれど
も、何だか辻褃の合はない
ところが大分あるやうに高
野に聞かれたそれを彼は好
い加減にあしらつて
「時に手前の奥さんは度々
こちらへ上つて御厄介にな
つて居ますが近頃はダンス
でも御教授を戴いてゐます
かな。
「近頃はあれが大流行です
が」
そろ／＼カマをかけ始め
た。と、花子は相變らず取
「何ですつて」
花子は怪訝なさうな目を
金縁眼鏡のかけに光らせて
「そりや貴君、私と深い交
際ですもの、格別な用事が
なくたつて訪ねたりするこ
とは幾らもありませんわ」
「成程、然うですか。奥さ
「それは申されません」
「ちや、貴君は奥さんの素
行調査に入らしつたんです
ね」

内小兒科・花柳病科
藤沼 院 醫
入院應需

木村 科醫院

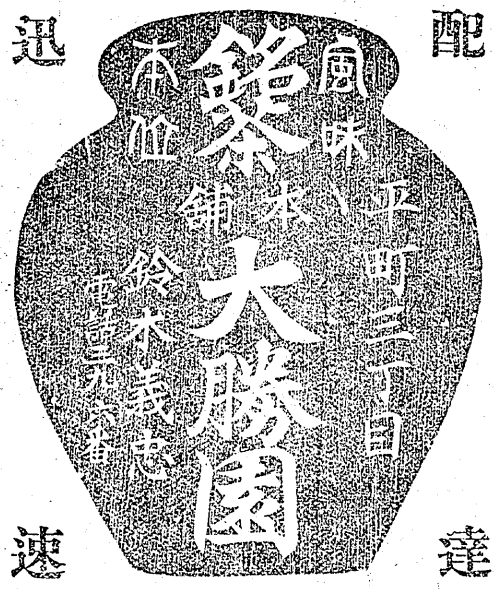
平町五丁目橋際
電話三〇九

御用命は印刷物の總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

上田 科醫院
平町南町
電話二一九番

平新川町十九
木村 病院
電話一六四番
産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目電話三



お茶の値下斷行
本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして
英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 第二號十錢

美味！
芳醇！
宗正らひた

難波 醫院
平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

山崎合名會社
電話一〇番